

厚生労働大臣の定める院内・Web 掲示事項 (2025 年 6 月)

- ◆当院は、保険医療機関の指定を受けています。
- ◆当院で勤務する医師、薬剤師は保険医、保険薬剤師の認定を受けています。
- ◆急性期一般入院料 3（10 対 1 入院基本料・急性期看護補助体制加算 25 対 1）
 - ◇5 階一般病棟は 1 日 14 名以上の看護職員（看護師）と 5 名以上の看護補助者が勤務しています。尚、時間帯毎の配置は次のとおりです。
 - 《朝 8 時 30 分～夕方 16 時 30 分》
 - 看護職員 1 人当たりの受け持ち患者数は 10 人以内
 - 看護補助者 1 人当たりの受け持ち患者数は 12 人以内
 - 《夕方 16 時 30 分～朝 8 時 30 分》
 - 看護職員 1 人当たりの受け持ち患者数は 7 人以内
 - 看護補助者 1 人当たりの受け持ち患者数は 3 人以内
 - ◇4 階一般病棟は 1 日 13 名以上の看護職員（看護師）と 4 名以上の看護補助者が勤務しています。尚、時間帯毎の配置は次のとおりです。
 - 《朝 8 時 30 分～夕方 16 時 30 分》
 - 看護職員 1 人当たりの受け持ち患者数は 5 人以内
 - 看護補助者 1 人当たりの受け持ち患者数は 17 人以内
 - 《夕方 16 時 30 分～朝 8 時 30 分》
 - 看護職員 1 人当たりの受け持ち患者数は 7 人以内
 - 看護補助者 1 人当たりの受け持ち患者数は 3 人以内
- ◆地域包括ケア病棟入院料 1
 - ◇3 階病棟は、地域包括ケア病棟入院料 1（看護職員 13 対 1・看護職員配置加算・看護補助体制充実加算）を届け出ており、1 日 12 人以上の看護職員及び 11 名以上看護補助者が勤務しています。尚、時間帯毎の配置は次のとおりです。
 - 《朝 8 時 30 分～夕方 16 時 30 分》
 - 看護職員 1 人当たりの受け持ち患者数は 7 人以内
 - 看護補助者 1 人当たりの受け持ち患者数は 5 人以内
 - 《夕方 16 時 30 分～8 時 30 分》
 - 看護職員 1 人当たりの受け持ち患者数は 6 人以内
 - 看護補助者 1 人当たりの受け持ち患者数は 3 人以内
- ◆入院時食事療養費（Ⅰ）・生活療養費
入院時食事療養（Ⅰ）の届出を行っており、管理栄養士によって管理された食事を適時（夕食については午後 6 時以降）・適温（保温保冷配膳車）で提供しています。

<入院時食事療養費の標準負担額> ※2025 年 4 月現在

区 分			1 食あたりの負担額
一般			510 円
市区町村民税 非課税世帯	低所得者Ⅱ		240 円（91 日目以降 190 円）
	低所得者Ⅰ	70 歳未満	240 円（91 日目以降 190 円）
		70 歳以上 75 歳未満	110 円
指定難病・小児慢性特定疾病の患者			300 円

＜入院時生活療養費・生活療養標準負担額＞ ※2025 年 4 月現在

区 分	医療の必要性の 低い方		医療の必要性の 高い方		指定難病患者	
	食費 (1 食)	居住費 (1 日)	食費 (1 食)	居住費 (1 日)	食費 (1 食)	居住費 (1 日)
市民税課税世帯	510 円 (470 円：注 5)	370 円	510 円 (470 円：注 5)	370 円	300 円	0 円
低所得 2【注 1】 (90 日までの入院)	240 円	370 円	240 円	370 円	240 円	0 円
低所得 2【注 1】 (12 か月の間に 90 日を 超える入院をした場合)			190 円		190 円	0 円
低所得 1【注 2】	140 円	370 円	110 円	370 円	110 円	0 円

【注 1】低所得 2 とは、世帯主と国保加入者全員が市民税非課税の世帯の人（低所得 1 以外の人）

【注 2】低所得 1 とは、世帯主と国保加入者全員が市民税非課税で、各収入金額から必要経費・控除（年金の所得は控除額を 80 万円として計算）を差し引いた金額が 0 円になる世帯の 70 歳以上の人

◆D P C対象病院

当院は 2 0 1 4 年 4 月より厚生労働大臣が定める D P C（診断群分類包括評価）対象病院となっています。

属する医療機関群	Ⅲ群
基 礎 係 数	1.0451
機能評価係数Ⅰ	0.2549
機能評価係数Ⅱ	0.0746
救急補正係数	0.0098

◆当院は下記指定を受けた医療機関です。

被爆者一般疾病指定医療機関 生活保護法等指定医療機関 救急告示病院
難病指定医が配置されている医療機関 労災保険指定医療機関 DPC対象病院
小児慢性特定疾患指定医療機関 臨床研修指定病院（協力型） 無料低額診療事業
結核予防法指定医療機関 指定自立支援医療機関（更生医療・精神通院医療）

◆九州厚生局長へ届出を行っている事項

○基本診療料の施設基準等に関する届出

機能強化加算、医療DX推進体制整備加算、急性期一般入院料3、救急医療管理加算、診療録管理体制加算3、医師事務作業補助体制加算2（30対1）、急性期看護補助体制加算（25対1）（看護補助者5割以上）、看護職員夜間配置加算（12対1配置加算1）、療養環境加算、重症者等療養環境特別加算、医療安全対策加算2（医療安全対策地域連携加算2）、感染対策向上加算1（連携強化加算、サーベイランス強化加算）、呼吸ケアチーム加算、後発医薬品使用体制加算1、バイオ後続品使用体制加算、病棟薬剤業務実施加算1、データ提出加算2・データ提出加算4 ロ（医療法上の許可病床数が200床未満）、入退院支援加算1、認知症ケア加算3、せん妄ハイリスク患者ケア加算、協力対象施設入所者入院加算、地域包括ケア病棟入院料1（看護職員配置加算、看護補助者配置加算、看護補助体制充実加算3）

○特掲診療料の施設基準等に関する届出

心臓ペースメーカー指導管理料の注5に掲げる遠隔モニタリング加算、糖尿病合併症管理料、院内トリアージ実施料、夜間休日救急搬送医学管理料の注3に規定する救急搬送看護体制加算1、外来腫瘍化学療法診療料2、ニコチン依存症管理料、がん治療連携指導料、肝炎インターフェロン治療計画料、薬剤管理指導料、医療機器安全管理料1、別添1の「第14の2」の1の（2）に規定する在宅療養支援病院、在宅時医学総合管理料及び施設入居時等医学総合管理料、在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料の注2に規定する遠隔モニタリング加算、持続血糖測定器加算及び皮下連続式グルコース測定、検体検査管理加算（I）、時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト、ヘッドアップティルト試験、CT撮影及びMRI撮影、外来化学療法加算2、無菌製剤処理料、心大血管疾患リハビリテーション料（I）、脳血管疾患等リハビリテーション料（I）、運動器リハビリテーション料（I）、呼吸器リハビリテーション料（I）、人工腎臓、導入期加算1、透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算、下肢末梢動脈疾患指導管理加算、経皮的冠動脈形成術（特殊カテーテルによるもの）、ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術、大動脈バルーンパンピング法（IABP法）、医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術（胃瘻造設術）、輸血管理料Ⅱ、輸血適正使用加算、胃瘻造設時嚥下機能評価加算、看護職員処遇改善評価料45、外来・在宅ベースアップ評価料（I）、入院ベースアップ評価料55、酸素の購入単価

○入院時食事療養／生活療養（I）

◆機能強化加算に関する事項

当院では、地域における「かかりつけ医」機能を有する病院として以下の取り組みを行っています。

◇健康診断の結果等の健康管理に係る相談に応じています。

◇保健・福祉サービスに関する相談に応じています。

◇夜間・休日の問い合わせへの対応を行っています。

◇必要に応じた専門医または専門医療機関への紹介を行っています。

※鹿児島県のホームページに記載されている医療機能情報提供制度（医療情報ネット）を利用すれば、かかりつけ医機能を有する医療機関が検索できます。

◆医療情報取得加算に係る事項

当院は、診療情報を取得・活用することにより質の高い医療提供に努めています。正確な情報を取得・活用するために、マイナ保険証によるオンライン資格確認の利用にご協力をお願い致します（保険証が公的に有効である間は保険証利用も可能です）。

◆医療DX推進体制整備加算・在宅医療DX推進体制整備加算に係る事項

当院は、医療DXを通じた質の高い診療提供を目指しております。

◇オンライン請求を行っております。

◇オンライン資格確認等システムにより取得した医療情報を、診察室で閲覧又は活用して診療をできる体制を整備しています。

◇マイナ保険証利用を促進するなど、医療DXを通じて質の高い医療を提供できるよう取り組んでいます。

◇電子処方箋の発行や電子カルテ共有サービスなどの取組みを実施してまいります。

◆後発医薬品推進に関する事項

当院では、後発医薬品（ジェネリック医薬品）の使用促進を図るとともに、後発医薬品のある医薬品については一般名処方（特定の医薬品を指定するのではなく、医薬品の有効成分名で処方箋を発行すること）を行う場合があります。その他にも、医薬品の処方変更等に関して、適切な対応ができる体制を整備して、医薬品の安定供給に向けた取組みを実施しています。

◆バイオ後続品使用体制加算に係る事項

当院では、厚生労働省の方針に従いバイオ後続品を積極的に採用しております。バイオ後続品は、先行バイオ医薬品と品質がほとんど同じで、同じ効果と安全性が確認された薬剤です。（例：インスリンアスパルト、インフリキシマブ 等）

バイオ後続品を使用することによって、患者様の薬にかかる経済的負担が軽くなります。ご理解のほどよろしくお願いいたします。ご不明な点がございましたら、主治医または薬剤師にお尋ねください。

◆協力対象施設入所入院加算に係る事項

当院は、介護保険施設等の協力医療機関として、当該施設等から24時間連絡を受ける体制をとっております。また、緊急時には入院できる体制を確保させて頂いております。当該介護保険施設等との入所者の診療情報及び緊急時の対応方針等の共有を図るため、連携体制を構築している施設は次のとおりです。

○嘉祥園

○青葉の里

◆院内トリアージ実施料に係る事項

当院では、夜間、休日または深夜において、受診された初診の患者様（救急車等で緊急に搬送された方を除く）に対して、来院後、速やかに緊急性について判断した場合、診療にかかる料金に「院内トリアージ実施料」を算定させて頂いております。看護師によるトリアージ（重症度判定）を行い、院内で定めた基準に沿って緊急性や重症度の高い患者様を優先して診察しているため、受付した順番で診察とならない場合がありますので、ご了承ください。

◆一般名処方加算に係る事項

2024 年 10 月より長期収載品（後発品のある先発品）のうち、要件に合致した長期収載品は、後発品との差額の一部を選定療養費として患者様の自己負担が発生します。該当する長期収載品を選択した患者様は、選定療養費分の自己負担額と保険給付分の自己負担額を併せて、窓口で支払いを行っていただきます。選定療養費分の自己負担相当額は、医療給付でないため消費税（10%）が加算されます。ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

◆入退院支援（入退院支援加算）に係る事項

当院では、患者様が安心・納得して退院し、早期に住み慣れた地域で療養や生活を継続できるよう、施設間の連携を推進し、退院の支援を実施しております。

詳細については、受付や各病棟に詳細を掲示しておりますのでご参照ください。

◆禁煙外来（ニコチン依存症管理料）に係る事項

当院は、ニコチン依存症管理料の届け出を行っており、禁煙のための治療的サポートをする禁煙外来を行っています。

◆保険外併用療養費に関する事項

当院では、室料の差額徴収は行っておりません。

◆保険外負担に関する事項

各種診断書、証明書、予防接種、健診等については別紙のとおりとなっています。ご不明な点は事務職員までお尋ねください。

◆明細書発行に関する事項

◇当院では医療の透明化や患者さんへの情報提供を積極的に推進していく観点から、領収書の発行の際に、個別の診療報酬の算定項目のわかる明細書を無料で発行しております。

◇明細書には、使用した薬剤や行われた検査の名称が記載されますので、その点ご理解ください。また、ご家族の方が代理で会計を行う場合など、代理の方への発行も含めて、自己負担のある方で明細書の発行を希望されない方は、会計窓口にご旨お申し出下さい。

自費料金一覧表(税込価格)

2025年6月現在

料金項目		組合員(円)	非組合員(円)
診断書・書類料金関係	普通診断書(大人)	880	1,100
	普通診断書(中学生以下)	440	550
	死亡診断書 1通目	2,200	2,420
	死亡診断書 2通目以降	1,100	1,100
	死体検案書	5,500	5,500
	交通事故診断経過書	5,500	5,500
	入院証明診断書	4,400	5,500
	通院証明診断書(生命保険)	3,080	3,850
	死亡証明診断書(生命保険)	4,400	5,500
	障害診断書(生命保険)	4,400	5,500
	傷病手当支給申請書(雇用保険)	880	1,100
	身体障害者診断書・意見書	5,280	6,600
	国民・厚生年金診断書	5,280	6,600
	国民・厚生年金受給者現況届	5,280	6,600
	受診状況等証明書	880	1,100
	特別児童扶養手当申請書 初回	2,640	3,300
	特別児童扶養手当申請書 2回目以降	1,760	2,200
	特別障害者手当認定申請書	1,760	2,200
	障害児福祉手当認定診断書	1,760	2,200
	福祉施設入所及び利用診断書	880	1,100
	補装具・日常生活用具の支給及び貸与に関する診断書	880	1,100
	市町村交通災害共済診断書(1円保険)	1,760	2,200
	裁判用診断書	4,400	5,500
	裁判用診断書(鑑定等複雑なもの)	8,800	11,000
	恩給診断書	4,400	5,500
	患者照会文書	3,300	3,300
	自賠請求用診断書	4,400	4,400
	自賠請求用明細書	3,300	3,300
	臨床調査個人票(新規)	3,300	4,125
	臨床調査個人票(更新)	2,200	2,750
	小児慢性特定疾病医療意見書(新規)	3,300	4,125
	病状証明書(ハローワーク用提出用診断書)	880	1,100
	じん肺健康診断結果証明書(労災申請用)	2,750	2,750
	健康診断書 再発行手数料	1,100	1,100
	健康保険継続療養受給届	無料	無料
	学校安全会各種証明書及び診断書	無料	無料

自費料金一覧表(税込価格)

2025年6月現在

料金項目		組合員(円)	非組合員(円)
予防接種料金関係	麻疹(はしか)	5,280	6,600
	おたふく(ムンプス)	5,280	6,600
	風疹	5,280	6,600
	二種混合	3,520	4,400
	三種混合	3,520	4,400
	四種混合	8,800	11,000
	五種混合	20,350	25,300
	MR	8,800	11,000
	水痘・帯状疱疹	7,040	8,800
	日本脳炎	4,400	5,500
	BCG	3,520	4,400
	ツベルクリン反応	2,640	3,300
	破傷風	2,640	3,300
	B型肝炎(ビーエムゲン)	6,160	7,700
	A型肝炎(エームゲン)	7,040	8,800
	インフルエンザ	2,750	5,137
	成人肺炎球菌(ニューモバックス)	6,160	7,700
	小児用肺炎球菌	9,680	12,100
	Hib(ヒブ)	6,160	7,700
	ロタウイルス(ロタリックス)	13,200	16,500
	狂犬病	5,764	6,424
	帯状疱疹(シングリックス)	22,000	27,500
	不活化ポリオ	8,800	11,000
	新型コロナ	14,300	17,930
	子宮頸がん(ガーダシル)	15,400	15,400
	子宮頸がん(シルガード9)	30,800	36,960
健診	ドリーム・上井・牧之原・みなと・はぐはぐキッズ	無料	無料
	院内保育所(おひさま)・保育園等入所時・上記以外	2,200	2,200
	健診診断料(結果)再発行手数料	1,100	1,100
その他	放課後等デイサービス児童発達支援 利用意見書	880	1,100
	診療録の開示手数料	基本料 2,200円 コピー代1枚22円 CD代 1,100円	基本料 2,200円 コピー代1枚22円 CD代 1,100円

区分１・２・３・４・その他に分類される手術の実施一覧

国分生協病院

区分	手術名	実施件数	実施期間
1	区分１に分類される手術 ア) 頭蓋内腫瘍摘出術等 イ) 黄斑下手術等 ウ) 鼓室形成手術等 エ) 肺悪性腫瘍手術等 オ) 経皮的カテーテル心筋焼灼術	0 件 0 件 0 件 0 件 0 件	令和6年1月～令和6年12月
2	区分2に分類される手術 ア) 靱帯断裂形成手術等 イ) 水頭症手術等 ウ) 鼻副鼻腔悪性腫瘍手術等 エ) 尿道形成術等 オ) 角膜移植術 カ) 肝切除術等 キ) 子宮付属器悪性腫瘍手術等	0 件 0 件 0 件 0 件 0 件 0 件 0 件	令和6年1月～令和6年12月
3	区分3に分類される手術 ア) 上顎骨折形成術等 イ) 上顎骨悪性腫瘍手術等 ウ) バセドウ甲状腺全摘術（亜全摘）術 エ) 母指化手術等 オ) 内反足手術等 カ) 食道切除再建術等 キ) 同種死体腎移植術等	0 件 0 件 0 件 0 件 0 件 0 件 0 件	令和6年1月～令和6年12月
4	区分4に分類される手術 腹腔鏡下胆嚢摘出術 腹腔鏡下鼠径ヘルニア術 その他手術	13 件 12 件 0 件	令和6年1月～令和6年12月
その他	その他の区分に分類される手術 ア) 人工関節置換術 イ) 乳児外科施設基準対象手術 ウ) ペースメーカー移植術 ペースメーカー交換術 エ) 冠動脈、大動脈バイパス移植術 及び対外循環を要する手術 オ) 経皮的冠動脈形成術 急性心筋梗塞に対するもの 不安定狭心症に対するもの その他のもの 経皮的冠動脈粥腫切除術 経皮的冠動脈ステント留置術 急性心筋梗塞に対するもの 不安定狭心症に対するもの その他のもの	0 件 0 件 5 件 11 件 0 件 0 件 2 件 1 件 8 件 0 件 5 件 1 件 37 件	令和6年1月～令和6年12月

令和7年4月作成